

SAT だより

SKI ASSOCIATION OF TOKYO

No. 42

発行 (財)東京都スキー連盟
〒102-0083 千代田区麴町4-5
第6麴町ビル 551号
TEL (3262) 2491 (代)
発行日 H 10. 6. 10 発行
編集 SAT編集委員会
印刷 エース工芸株式会社



ごあいさつ

代表副会長 浦 辻 直

私が都連の役員になったのは2年前でした。これすら全く私の意とするところではなかったと云うのが本音でありました。

あと任期を半年残して、代表と云う大役を仰せつかり大変な事になったと、又これも本音であります。が、現状を察するに、己れの事など言っている暇はない状態で、理事に与えられた仕事とは何んなのかと現場に引き戻される事になります。先輩評議員及び代表委員の皆さんが我々役員に何を求めているのかが思い出されてくるところです。

これを考えると、あと半年で死にものぐるいで4～5年の懸案事項を解決し、本案のスキースポーツの楽しさへとわずらわしさを払拭する事である。

理事の皆さんは、それぞれが一生懸命に仕事をしております。一人一人がそれなりの立場で観察し、思考し、実行へと結びつけて行くが、その結果、それなりの個人差が出る事は止むをえない事であります。

この激動であった空間を元に戻すには、必要な時間としがらみの解除と正しい都連の生き方を理解する事は確実に要求されなければなりません。

私は、これをしっかりと受けとめて行動しなければならぬと思うところであります。

役員になって、ここ2シーズンを振り返りますと、ともすると担当者指向的なところがあったのではないかと、例えば受付方式、お金の払込方式等お客様と云える傘下のスキーヤーの皆さんに多少の不便をおかけしたのではないかと反省しているところであります。

弁解じみた事になりますが、恒例の指導員研修会にしても、シーズン約三千人の参加者をさばかなければならないと云う仕事は、教育本部にとっても大変な作業でありまして、担当役員は鋭意努力しているところですが、これも馴れと自信の中で改善されて行くべきと考えております。

一方、北海道に次ぐマンモススキー人口をかかえるわが都連が、全日本への応援体勢においても、諸々の分野から協力する事により、スキー界の発展と、ひいては全日本スキー連盟の組織安定に寄与すべきものと考えているところであります。

それには、東京都スキー連盟の組織の安定化を図り有能な人材を発掘する事により、大いに巾広く活躍してもらう事が都連がしなければならない責務と考え、これが、現今低迷する日本のスキーヤーの育成、発展につながる事ではないだろうか。

最後に、ご心配をかけている都連の現状について、理事会議事録をお読みになって、その進捗をご理解戴き先輩諸公のご賢察を戴けたら誠に幸いと思うところであります。

し、思考し、実行へと結びつけて行くが、その結果、それなりの個人差が出る事は止むをえない事であります。

この激動であった空間を元に戻すには、必要な時間としがらみの解除と正しい都連の生き方を理解する事は確実に要求されなければなりません。

私は、これをしっかりと受けとめて行動しなければならぬと思うところであります。

会員の皆さんへの報告

専務理事 小川 和雄



私たち執行部の2年間の任期は本年10月に終了します。ここで私たちが、これまで1年半に行なったことと、残された半年に行なおうと考えていることを、いくつか書いてみます。

(1)行事について

2年間のスキーシーズンの行事については、雪不足でやむを得ず中止したごく僅かの行事などを除き、無事終了しました。

執行部に積極的に協力いただいた各部専門委員の皆さん、開催スキー場のスタッフの皆さん、そして行事に参加いただいた会員の皆さんに感謝しています。

このうち、指導員研修会については理論研修を9月から都内で実施し、代わって現地実技の日程を短縮しました。勤務などで時間のない参加者には好評だったと思っています。なお、参加会場の割り振りなどに一部不慣れな点があつて、参加者にご迷惑をおかけしたようでお詫びします。

準指導員検定会については、懸案だった理論成績発表を実技検定前に実施し、検定受験者の便利をはかりました。

(2)規約改正

平成8年8月の規約等審議委員会の答申をうけて、私たちは昨年7月の評議員会に「評議員選出関連」の規約の改正案を提案・承認を得て、昨年8月の代表委員会で新規約による選挙によって新しい評議員が選出されました。

私たちは、答申に残された「役員選出」の改正を審議中であり、ぜひ本年7月の評議員会に改正案を提出し、本年10月の役員改選から実施したいと考えています。

(3)事務局の充実とコンピューター化

ご承知のとおり、私たち理事は任期2年で交代しますが、都連組織は永遠に存続し、その事業を毎年確実に実施することは当然です。そのために、交代する理事を補佐する常勤の事務局のさらなる充実が必要と考え、実行しつつあります。

このたび、予算・決算業務などの会計責任者としてベテラン男子職員を採用するとともに、事務局業務のコンピューター化を推進しています。会員の皆さんに関係の深い窓口業務も、不慣れな面からご迷惑をかけていることもあるかと思いますが、近いうちに改善の効果が出ると確信していますので、もう少しお待ちください。

教育・競技など各部の行事遂行についてのコンピューター化は着々と進めており、さらに努力するつもりです。

(4)財政と来期行事

都連会計に保有されていたリスクの高い転換社債などは、昨年7月の評議員会で私どもの提案どおり全量処分が議決され、直ちに売却しました。財政の安全性は改善されたと考えています。

スキー界は不景気風が吹いていますが、都連としては、公益法人である性格を重く考えながら個々の行事の採算性を検討し、来期行事計画と予算を作成しつつあり、一部の不採算事業の中止・縮小もあるかもしれませんが、会員の皆さんのご理解をお願いします。

〈財全日本スキー連盟・編作〉
基礎スキー検定・実技
 税込価格3,200円(カラー25分宅冊)
 既刊●税込4,900円(カラー52分宅冊)

基礎スキー検定・実技
 税込価格3,200円(カラー25分宅冊)
 既刊●税込3,270円(カラー42分宅冊)

98スキー大会レポート
 税込価格3,570円(カラー60分宅冊)

98技術選「トップ10」のテクニック
 税込価格3,990円(カラー70分宅冊)

〈年度・最新版〉
 1998~2000 37人のデモファイル
 税込価格3,570円(カラー60分宅冊)

国際スキー技術選手権大会
 税込価格3,360円(カラー30分宅冊)

SKI journal
 栗野利信
 2連覇の軌跡
 カービングの必要条件

★全巻・好評発売

準指導員検定会については、懸案だった理論成績発表を実技検定前に実施し、検定受験者の便利をはかりました。

(2)規約改正

都連会計に保有されていたリスクの高い転換社債などは、昨年7月の評議員会で私どもの提案どおり全量処分が議決され、直ちに売却しました。財政の安全性は改善されたと考えています。

稼働した経理組織の〇A

会計担当理事 齋田 耕



この度、本誌を借りて都連会員の皆様にお知らせする機会を得ました事を幸いと致します。

ご案内の通り（財）東京都スキー連盟の健全化は財務、とりわけ財産管理にあると思います。都連に限らず一般論

として、団体のトラブルの原因は資金に絡んだものが一番多いように思います。一部役員が組織運営に大きく影響を与えるのも、財産の私物化的運用支出が原因となる事があるとも思えます。

都連の財務経理は少なくとも平成6年までは、預金口座の把握も即座にできない状況でした。帳簿組織においても未熟な状態で、勿論、複式簿記などにはなっていませんでした。

このような状況下、皆様のご理解を得る公益法人会計を取り入れ、記録処理するには、一度には無理で、糸をほぐすように報告書様式も段階を追う必要があったと思っています。会計収支の内容、勘定科目の設定など、解釈・定義付け・処理方法には、まだ消化不良

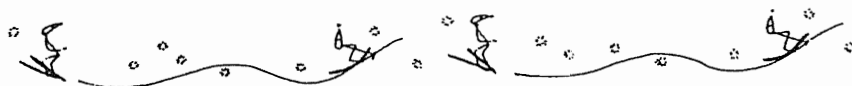
の危惧があるとはいえ、とにかく、本年度コンピューター会計を導入稼働させるまでに、漕着けました。

そこで、これを機会に、今期は会計組織の単純化を目指し、特別会計制度の見直しを計り、刊行物・退職金会計を一般会計に併合し、資金会計の単純明確化に努めました。また、備品管理・会員のデータ管理や行事申込などの〇A化促進、その他会計に絡む事務を順次整備整頓していきたいと、取組みつつ来ております。

幸い、経理関係には知識に明るい職員を得ることが出来、且つ、〇A化対応のため職員研修等の実施をしまして、今後はどなたがみても良く分かる、明瞭ガラス張りの事務処理と情報提供ならびに報告が出来るように思っております。

今期の予定の作成にあたっては、昨今の低金利の影響で果実収入がもてませんので、受益者負担で組みましたが、各本部事業とも運営の効率化に努力され、順調に行事をこなしたと思われず。

これから組む来期予算にあっても、より一層勘定科目の明確化・整備を計り、皆様のご理解・ご協力を得られる収支をと、この「受益者負担」の基本方針の經常化・恒常化を果たしていきたいと思っております。



車山高原の休日

フラッグシップ・リゾートホテル スカイパークホテル

での「ゆとりの休日」をお楽しみください。



高原のチャペルで教会ウエディングはいかがですか

SKYPARK HOTEL

☎ 0266-68-2221

信州総合開発観光株式会社
茅野市ビーナスライン車山高原

教育本部報告

教育本部々長 本 間 尚



私は今シーズンの全ての行事が無事、大過なく終了いたしました事を御報告させていただきます。

これも一重に都連参加の各クラブの皆様の御協力のおかげと深く感謝いたします。

又、私自身が教育本部の長として、無事(?) 現段階では色々な問題は残ってはいるものの、2年間一期すこささせていただきます関係各位の皆様の御協力のおかげと合せて感謝いたしている現在です。

増田前本部長からの引き続きと言うことで増田氏が立案された大きな方針に乗って、各委員会制度の確立にをモットーとして、混迷を続けていた都連の教育本部の行事運営のスムーズ化に今期は全力をかた向けた所存でした。

おかげをもちまして、新しく入られた教育本部理事の方々を各委員会の担当として各委員会と連結を強める行事運営に当たっていただきました。結果として2年間の中で行事内容、運営等につきまして、ほとんど完璧に近い状況で終了することが出来たと感じております。一年目は何かと不慣れな点があった事はいない部分もありましたが、今年度は内容的にも充実した型で各行事をこなされたことについて私として本当に感謝いたしております。

しかし、行事のスムーズな運営、執行に当りましては、専門委員の皆様の協力なくしては行なわれなかったと痛切に感じております。

委員会を中心に特に各委員会の長、副、セクレタリーと担当の理事の皆様の行事に対するコミュニケーション、会議、打合せと都内に於いて何度も重ね、現地へ行くまでの間の努力は並大底のものではなかったと思います。

この様な会が何度もなされ、行事が組み立てられ運営にあられた事に対し、本当に教育本部長としてこの紙面をかり、御礼を申し上げたいと思っております。各委員会の皆様に感謝いたしたいと思っております。又、教育本部の30数行事に対して、中央研修会后12月初

めから4月の3週までの間の行事に対し、各専門員の皆様の努力に重ねて感謝の意を表したいと思っております。

さて、今年の反省に当たってですが、今シーズン初めて導入いたしました研修会の土、日の実技、都内理論について賛否両論があり、行事運営に於ける事務的な手続きについても反省の点が多々あると感じております。しかし、6500余名を教える指導員の研修会の実施に当たっては現段階では非常にむづかしい状況にあります。又、12月の初めの中央研修会后の都の専門委員の伝達、そして年内の2週つづけての各研修が大きなメインに成りますが、講師の構成としても、ここ5週連続つづく形に成り、講師の確保に非常に苦慮している所です。又、研修会としても、やはり年内に消化したい意向は受講される方々は皆さんそう思っていることと考えられます。

しかし、今シーズンの実績からも2000人~2500人位が限度と成ります。従って参加希望者の2/3位の対応しか出来ないのが現状です。この部分での方法を十分に今後検討していく事が必要と思っております。又、都内での理論を先づけて行うことにより実技とのリンクの点での問い合せについての対応も今後の大きなポイントに成りそうであります。現在、業界不況の折都の財政確保にも、大きな影響の出る行事である点も視野に入れた中で、今後の対策を取るべく努力する必要性を強く感じております。

次に準指の検定、技術選について井上理事の努力により両行事ともJAS、セイコー各社からのゼッケンの協賛があり、実施することが出来ました。両社の担当の方にはすでにお礼に伺って行事の報告をすませ、来期もお願いすることで了解を得られました。本当にありがとうございます。又、両行事につきましては、検定委員会、強化委員会が中心と成り問題なく、終了いたしております。

次に準指受検者が1000余名、技術選600余名の参加者をかかえ日本一の行事であると考えられます。この数を今後も続けていく為に今後どの様な方法を講じて行くか、行事の冠化、スポンサーの確保等、特に技術選に於いては全日本で活躍する選手の強化はもちろんですが、将来の都専門委員の育成も踏まえて

考えていく必要性を感じております。

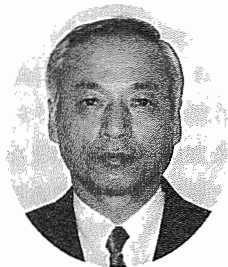
最後に成りますが、研修会クリニック等、又準指検定でのライセンス、受講票の不備等の点でいくつかのトラブルが発生いたしました。しかし行事が進むにつれてほとんどなくなって来たことに対し、皆様の協力に対してありがとうございました。この事と同時に特にクリニックの資格停止の件について、かなりの数に上り、今後の処理につきましては十分な検討をする必

要があると感じております。“やむを得ない事情の”解釈の点で今後統一する事を検討して行きたいと考えております。

尚、現段階で各委員会からの報告及び反省が提案されておきませんが、提出された段階で報告、反省を踏まえ来期の実施案を作成、良い方向に向けてまいりたいと思っております。本年度は数々の御協力を戴きありがとうございました。

競技本部行事報告

競技副本部長 工藤 則夫



●昨年同様の雪不足によりシーズン初めの大会で、12月28日グリーンピア津南で行う予定だった第4回クロスカントリースキーフェスティバルは、多くの参加申し込み者が有りましたが、自然には勝てず、何とか開催出来ないか

とギリギリまで粘ったのですが、12月25日現在スキー場・コース上に積雪ゼロとう状況では中止せざるを得ない状況でした。

夏から専門委員をはじめ地元関係者の皆さんと準備を進めてきたので、とても残念でした。

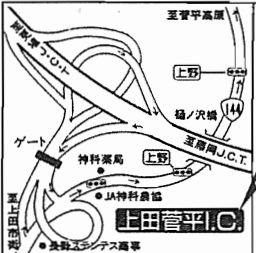
●期待と不安で迎えた1998年2月7日から始まった長野オリンピックでしたが、私たちに多くの感動をあたえて2月22日無事終了し、私もスキーを愛する一人として大きな拍手を贈ったところでありますが、今回のオリンピックは暖冬とあって、雪の心配が最初から最後まで付いて回りましたが、役員皆様の必死の努力により、素晴らしい大会となりました。

2月の白馬で雨が降るという中でクロスカントリー競技が行われましたが、私も選手の応援に行き実感してきました。

●長野オリンピックが終わったあとすぐ、岩手県の安代町で行われた国体では、東京都選手の皆さんは良く健闘してくれましたが、中でもジャンプ陣が最終日に期待どおり、参加選手5名中4名が入賞するという健闘を見せて盛り上がりました、来年もさらに期待される所です。

●今年はオリンピック関係と雪不足で一部の大会に中止・大会日変更等がありました。専門委員・地元及び関係各位のご協力により、本年度の雪上行事は4月12日のランキング記録会をもって全て終了いたしましたことを、ご報告いたします。

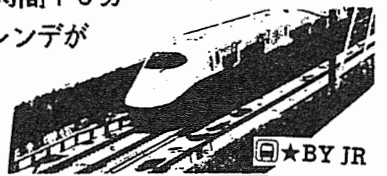
●競技本部の運営におけるOA化では、講習会・研修等を行いCT-400の現地使用を始めました。CT-400の使用に合わせOAソフトの構築等も順調に進んでおりますが、さらに講習会等を重ね皆様の期待に応えるよう頑張っていきたいと思っておりますので、皆様のご協力もあわせてお願いいたします。



**NIPPON DAVOS
SUGADAIRA KOGEN**

新幹線開通・東京から菅平高原まで2時間10分
車でもJRでも益々便利 粉雪舞うゲレンデが
今年もお待ちしております

★BY CAR 上田菅平I.C.からたった20分! 菅平高原観光協会



★BY JR

フリースタイル・スキー部報告

F.S.S.部長 渡 邊 宏

異常気象に振り廻される

今シーズンもエルニーニョ現象の影響で、予想出来ない雪不足となり、イベントの変更を行なった。3件を延期し、そのうちの1件は延期したのにもかかわらず、残念ながら中止という決断を下さざるを得なかった。



得なかった。

このような状況は、選手は勿論、スキー場及びその関係者、とりわけ派遣役員の再手配（役員は他に仕事を持ち、ボランティアとして活動してもらっている）など含め、混乱を引起す要因となった。

しかし部を上げて最大限努力した結果、第2回アクロ競技会（爺ヶ岳スキー場）が中止になった以外全種目を遂行することが出来た。ここに改めてイベントに関係のあった方々と、御理解をいただいたスポンサーに対し厚く御礼を申し上げます。

振り返れば今年はこんな悪い話ばかりではありませんでした。

団地のおばさんにまでF.S.S.が浸透

オリンピックに於けるF.S.S.選手の活躍はまだ新しい記憶として皆様の中に残っている筈です。

特にモーグルの里谷多英選手のゴールドメダル獲得という、我国スキー史初の特筆される快挙もあり、このおかげでF.S.S.とはという従来の説明もいらなくなる程、一般世間に浸透させるという大効果となりました。

あのオリンピックでF.S.S.競技で活躍した選手達は、つい最近まで都連主催の競技会に出場し良い成績を上げた人達です。いわば東京大会は一種の登竜門のようなものです。オリンピックをTVで観戦していて、顔見知りの選手が出てくると自然に力が入ってしまうのも仕方がない現象でしょう。

選手強化と選手育成への道

さて、都連として今後の重大な課題として取組まなければならないのは、選手強化と後継者の育成であろうと考えております。

しかしながら現実の都連財政は厳しく、この道筋をつけるのは大変なことなのです。それでも都連としては歩み続けなければならない道ではないでしょうか。

この為現役員も頑張りますが、一番力になるのは加盟団体皆様の御理解と、御協力です。この機会に特に御願ひ致しておきます。

以上簡単ですが、今期報告と今後の方針と致します。

前号記事の訂正

「SATだより」第41号の「加盟団体の安全管理について」の文中に不適切な部分があり、誤解を招くおそれがありましたので、お詫びし、以下のように訂正します。

14行目「石打スキー場での競技大会…から

18行目…かもしれません」までを削除。

19行目「通常では考えられない事が…から

21行目…えてくれます」までを

「通常では考えられない事が思わぬ時に起きる事があります」に訂正。

安全対策部副部長 久永正利

女子の部東京優勝！

安全対策部長 中澤義昭



第13回全国スキーパトロール技術競技大会が3月28日(土)～29日(日)福島県あだたら高原スキー場で開催されました。全国各地において活躍するスキーパトロールの、技術向上と士気高揚をはかり、併せて相互の親睦を

密にすることを目的としております。

参加資格はスキーパトロール活動に従事している者で、SAJ登録会員1級以上であることそして障害保険に加入している者であることです。1チーム6名で4名で競う、その種目は雪上と室内で4種目行います。

雪上競技、アキヤポート搬送〈強く巧みな安全搬送〉

チーム総合滑降〈洗練された技術とチームワーク〉

室内競技、ロープ繰法〈素早い正確な繰法〉

三角巾包帯法〈正確で迅速な手さばき〉となっております。

今回、東京はAチーム(男子) Bチーム(女子)の2チーム出場し、総合でAチーム9位 Bチームが17位でした。(出場22チーム)3年程前から雪ナシ県東京は日頃目立ない安全対策部が主となり、公認スキーパトロールの人達が活躍出来る場を求めておりました。その1つがこの大会で、何とか上位に入りたい、その為に環境づくりと練習です。合宿を重ね、結果、ここ数年男子は6位、13位、9位、女子は2位、1位と念願の上位に入ることが出来ました。本年は女子総合で1位でしたが、残念なことに例年出場しているチームが欠場となり何とかさみしいかぎりでした。東京が出場したのに……。現状ではやはり女子パトロールは少ない、しかし今後のスキー傷害の内容を考えるともっともとその必要性が高まっていくものと思っております。

これから都連の安対部としては日本赤十字で行っております救急法の講習を協賛で実施をして通常期の災害対策と冬山の安全対策の為に公認スキーパトロールの資格を求めて頂ける様にして行きたいと思っております。その為には各加盟団体のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

大会出場者名

- Aチーム(男子) 大信田雅伸、織田 久
田中真人、黒崎正喜、堀江敏雄、飯田剛己
Bチーム(女子) 寺西 馨、山本和子
柏原聖子、萩谷雅子、栄真理子、山本道子



パトロール技術競技会に参加して

東京女子チーム 柏原聖子

今回の競技会では女子の部は1チームのみの参加でした。これは男子チームも含めた中で最下位での女子の部優勝は免れたいというプレッシャーになりました。

結果、最下位ではなかったものの優勝にふさわしい技術には達していないという反省が残りました。来年はさらに技術を磨き優勝にふさわしい且つ自らが満足できる結果を出せるように研鑽を積みみたいと思っております。

全国スキーパトロール 技術競技大会参加者名簿

	氏名	クラブ名
役員	中澤 義昭	東京スキー研究会
	久永 正利	日本航空スキー部
監督	大信田 雅伸	目黒区スキー連盟
	織田 久	小平市スキー連盟
	田中 真人	世田谷区スキー協
	黒崎 正喜	デモネージュSC
	堀江 敏雄	ホワイトベアー
	飯田 剛己	ブリリアントSD
	寺西 馨	渋谷区スキー連盟
選手	山本 和子	東京消防庁スキー
	柏原 聖子	デモネージュSC
	萩谷 雅子	シュアーSC
	栄 真理子	東村山市スキー連
	山本 道子	

長野オリンピック後のスキー界の課題

S A J 理事 渡 辺 茂



1998年の冬は、長野オリンピックでの日本選手の活躍に日本中の人々が一喜一憂し、感動し、盛り上がることで大変成功裏に終了することができた。

オリンピックの開催が決定した時点から、スキー界の流れ

は何年もの間それが中心となって動かされ、その成功に向かつてかなりなエネルギー投入が行われ、このイベントの成否にスキー界全体の活性化の期待が集まっていたことは確かである。

然しながら、華やかであったオリンピックシーズンが終わった段階でスキー界全体がどうであったかと振り返ってみると、これから先の見通しに全く期待のもてない状況が多々生じており、ここで何とかしなければ大変なことになってしまうのでは、背筋の凍るような思いがないではないと実感している。スキーの仲間はこの危機的な状況を細部にわたって明確に認識してもらい、早急に、スキー界全体に対してそれぞれの立場で様々な角度からの対応策の立案と積極的な働きかけをすることが必要であると考え。

今早急に求められることは、長野オリンピックの終了を起点として、スキー界全体の見直しとゼロからの出発であろう。

現実にはどの様な状況が発生しているのだろうか？ 昨今の経済の低迷を要因としたさまざまな落ち込みがみられる。具体的な幾つかの事例と要因を挙げてみよう。

- ①スキー場へのスキー客の来場状況は、日本中の何処を問わず週の中で、土曜・日曜を除いてから空き。宿泊日数が減少。手近でリフト料金が安いスキー場への、週末の休日のみ又は日帰り利用が多い。一般的には経済的に余裕がなく、金がなく・暇がないので休日を効率よく利用している。鉄道や高速道路網の充実により短時間でスキー場への往復が可能になったので、リフト料金分を取り戻すため終日目いっぱい滑って帰るスキーヤーが多い。
- ②若者のスキー離れがめだつが、反対にスノーボーダーの愛好者がふえている。スノーボードをするのが

若者のファッションとなっている。

一年を通じた生活の中で車・パソコン等お金が掛るものがいっぱいあり経済的なやり繰りが大変。様々な遊びが登場しているがスキーもスノーボードも遊びの中の一つである。若者は新しいもの好き、スノーボードは手軽に楽しめる遊びの一つである。スキーは上達の度合いが遅く、用具を中心にすべてのお金が掛かりすぎるのがスキー離れに繋がっている？

- ③スキーの販売業界の売上げの落ち込み現象が著しい。日本一の売上げを誇った神田のスキー量販店街は販売の最盛期でもかつての賑わいがなく、商品の割引率の程度に関係なくお客の購買意欲が冷え切っている。その結果としてスキー製造・スキー用品販売業者の倒産、縮小、撤退が著しく進行している。特に国産ブランドの大手企業の撤退が顕著に見られる。

《スキー連盟に関連した事例》

- ① S A J 公認スキー学校の入校者やスキークラブの講習会の参加者が激減している。従ってスキー学校の売上げやスキークラブの収入の大幅な減少と共に、経営・運営費への圧迫となり、結果として今後の存立の危機にまで発展しかねない状態である。景気の低迷・経済状況の逼迫が原因で、講習料まで手が回らないことやスキー場へのスキーヤーの来場の絶対数の減少が最大要因であるが、講習内容の魅力のなさや成果に期待がもてないことも要因の一つである。指導者の意識改革や講習内容の工夫として、面白い・すぐうまくなる事が求められている。
- ②登録者数の減少。今年度の S A J 登録者人数は約1万名の減少となっている。加盟のスキークラブの会員の減少傾向が要因として考えられる。登録料、クラブ会費の減収はスキー連盟及びクラブの運営・活動に支障を来し、その存立にかかわる重大なことである。スキー連盟、スキークラブへの登録・在籍に関しては具体的なメリットを感じられないことが一つの要

因であるが、メリットの一例として指定スキー場のリフト料金や宿泊施設の割引等が挙げられる。

③ S A J の資格検定・技能検定の受験者の減少。特に級別テストの受験者が減少した。スキーヤー全体の絶対数の減少が原因か？スキー学校・スキークラブ活動の不振によるところが大きい。

一般スキーヤーの指向の変化もその一つ。つまり技術指向から遊び指向に変化していて、面倒な技能テストは受けたくないとする傾向にある。楽しい指導から楽しいテストにつながるスキー連盟、スキー学校、スキークラブの施策が求められている。

④ 公式用品会員の撤退と減少傾向が進行している。

スキー製造・販売業者の倒産、縮小を要因とした S A J 公式用品会員からの撤退が顕著である。公式用品委員会への協賛金はスキー連盟の運営・活動に大きな影響を来す重要な財源であり、スキー連盟の

財政の危機にかかわる重大事である。

競技会・公式行事のスポンサー、ゼッケン協賛の減少。特に競技会の開催が困難になっている。企業の経費節減・縮小によって選手契約の解除や契約金の減少が見られる。

以上列挙した事例と要因それから生じるスキー界全体の危機的状況を、スキー連盟・スキークラブのリーダー・指導者は明確に認識し、危機回避の具体的な対策をたてることが急務であると考えている。指導員研修会のテーマの中でカービングスキーについて採り挙げているが、それも活性化策の一例である。スキー学校の営業努力、スキークラブ活動の促進等は特に重要なスキー連盟の方針として進めるべきであり、長野オリンピックを時代の一区切りとしてすべてを白紙とし、スキー界の再スタートをすべきではなかろうか。

社会体育指導者移行講習会開催について

総務本部理事 中 嶋 淳

平成7年より毎年開催されてきました文部大臣認定社会体育指導者資格認定事業（地域スポーツC級・B級）は平成10年6月14日と21日、7月12日と19日の4日間をもちまして全て終了いたします。今年度の受講者数はC級163名、B級172名となっており、この4年間合計受講者数は1,300名とな

ります。今回で終了となる対象者は、平成2年3月31日以前に指導員、準指導員の資格を取得された方です。来年からは平成2年4月1日以降に指導員、準指導員の資格を取得された方が対象の専門科目免除による講習会が開催される予定です。受講を希望される方は、今後の広報をお待ち下さい。

選挙管理委員会

氏名	所属団体	氏名	所属団体
◎ 新川 和博	ライネススキークラブ	杉山みどり	デモネージュスキークラブ
○ 関根 俊男	世田谷区スキー協会	笹岡 博明	ラ・ネージュ
柳 正一	八王子スキー連盟	小林 俊仁	スカディススキークラブ
高橋 則夫	千代田区スキー協会	伊藤 淳也	ナトゥーア・シークルupp
斎藤 真	朝日新聞山とスキーの会	伊藤 眞啓	マスターズスキークラブ
板垣 剛	チロル・シー・カメラード		

指導員検定合格者

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
第 1 会場		川崎 英輝	タント
秋山みつ子	トライアングル	乙戸 良範	国土館大学基礎
石井 秀明	雪だるま	室賀 雅之	チロルシーカメラード
大島 義治	エイティエイト	佐藤 佳恵	スラローム
小林 祐司	東京都庁体育会	藤井 正人	東京ガス
酒井 理彦	志賀高原	川口のりえ	町田市スキー連盟
櫻井 義久	世田谷区	鈴木 隆二	白馬
住谷 紀子	ブルー	原田 能成	東京燕
土橋利津子	東京都庁体育会	金田有紀子	スポーツファンクション
土師 桂子	東京デフ	安井 佐織	アシックス
土師比佐夫	東京デフ	黒須 洋一	スノータンネット
北條 洋子	A.V. ぴあ	徳竹 直美	東京国税局
村田 倫子	ピステ	杉本 奈々	ローデル
村田 陽子	ブルー	田中 芳枝	スカブラ
由良 公一	スノーファミリー	白柳 宗之	中央大学かもしか
第 2 会場		岡田 栄一	シュプール
金子 延生	イエティ	宮嶋 岳志	サンダーグ
金光 朗子	モルゲンロート	近藤 孝弘	サンダーグ
稲毛 朗	シール	高野 英明	アウ
山岸 達也	ブリリアント	大谷 順子	アウ
嶋村 剛	ブリリアント	栗山 慎一	八王子スキー連盟
第 3 会場		入澤きよみ	大原学園
田部井 周	ギツベル	鈴木 貴史	大原学園
松井 昭一	ラスカル	中谷 宏知	大原学園
池内慎太郎	大学スキーサークル連合	斎藤由希江	大原学園
中村 抽里	児童スキー研究会	日詰 晶	ヨシマル
千葉 泰紀	目黒区	児山 将之	大原学園
藤井 義照	立川市	桐生 義宏	防衛庁
塩谷 誠	ヨシマル	矢倉 慶子	防衛庁
戸張 淳子	新宿	第 4 会場	
有本 浩	アルス	柳 正一	八王子市スキー連盟
菊池 祥一	中央	山口 早人	ヴェーデルン
長谷部 貴	コンガリー	門倉 豊	八王子市スキー連盟
天辰 浩美	日立本社	田村 留加	上智大学アспен
安藤 利夫	八王子	増子誠一郎	アспен
村井 英夫	ピクトリア	服部 朋子	東京石楠花会
樋口 玲子	スキークラブツバイテ	佐瀬 貴郎	上智大学アспен
宮町 晴伸	狛江市スキー協会	間 健太郎	武蔵野市スキー連盟
山田 順之	カジマ	加藤 恵子	ホワイトトリボン
石井 文昭	中央	藤田 秋夫	トヨタ自動車東京
竹川健太郎	三鷹市スキー連盟	笹野 明男	八王子市スキー連盟
金光 淳一	モルゲンロート	黒田奈穂子	シュア
東 英樹	昭島	第 5 会場	
清水 弘行	T. W. S	榎本 裕	昭島
千石 貢嗣	アルペン	藤野 克彦	練馬区スキー協会

A 級公認検定員合格者

氏名	クラブ名
第 3 会場 (水上ノルン)	
小池 俊哉	セントラル

パトロール検定会合格者

氏名	クラブ名
第 2 会場	
山口 正昭	ジャスク
第 3 会場	
久永 正治	小平市
萩原 孝治	東村山市

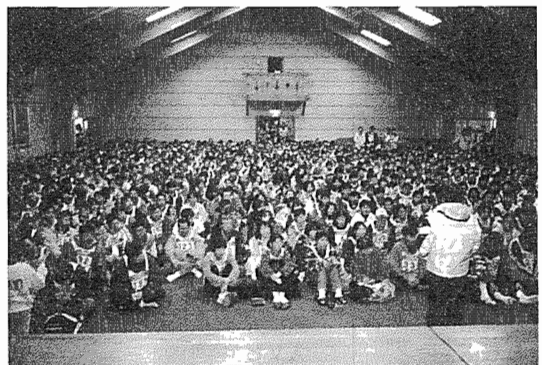
スノーボード指導員合格者

氏名	クラブ名
第 2 会場 (よませスキー場)	
植木 照夫	ミワサス
大滝 力	大原学園
横田 直子	大原学園
小林みどり	大原学園
佐藤 佳恵	スラローム

準指導員検定合格者

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
	菅平 B 1 会場		
岸 英子	ミタカファースト	田畑 和浩	東京ガス
岡本 直子	八王子	佐藤 幹也	小平市
佐藤 友美	小平市	小杉雄一郎	ギッペル
山本 真紀	Y M C A	千葉 弘実	世田谷区
高橋 明子	中央スキー	舟橋 信隆	武蔵野市
笹川 憲子	ブルーベル	伊藤 隆	ときわスキー
渡辺賀津子	ハーウェル	成田 一也	ウィッツ
十村 美雪	スノータンネット	小室 昌司	スラローム
小河 裕子	S A A	戸塚 幸雄	T X
鈴木世志子	スノータンネット	白倉 克彦	小平市
水田 朝子	港区	千葉 伸一	都庁
内藤 玲子	A V ピア	粕谷 透	スカディ
榎本奈津子	スノータンネット	小倉 正幸	D. D. S.
山田 貴子	スノータンネット	高橋 芳男	千代田区
南田 正子	マンシャフトシユネエー	滝沢 誠	エーデル
岡田 和恵	調布市	高田 芳秀	バグース
小澤 秋子	ヨシマル	小関 洋志	ハイランド
村山 紀子	立川市	満田 恒春	スポーツユニティ
松井奈穂美	ヨシマル	長岡 憲司	ラ・ネージュ
児玉ゆりか	白鯨	赤坂 臣一	都庁
鈴木千穂子	N A S	伊東 良道	ジャスク
阪田宣四郎	杉並区	吉永 和彦	エイティエイト
			菅平 B 2 会場
西村 耕作	世田谷区	横瀬 鈴代	国分寺市
岩田 正明	バル・モンタニア	矢島 純子	スノーハーモニー
滝澤 宏行	豊島区	永富佐江子	スポーツユニティ
江井 吉晴	八王子	佐藤 真紀	A V ピア
古澤 和仁	S A A	千秋 清美	エイトマン
牧之内卓美	港区	石垣 麻紀	モンタナ
川端 徹	真果体育	金子奈保子	ウィンターバース
児玉 兼信	リーゼン	赤尾 文江	K S C
高橋 忠	雪だるま	伊藤真紀子	港区
小暮 将司	ナチュラル	原 初世	港区
串田 直隆	立川市	川渕 法子	渋谷区
染谷 昌彦	エスプリ	森田ひろみ	青梅市
新井 健之	大学スキー	上田佐和子	江東区
山本 喜道	ローデル	庄司喜美子	多摩市
安田誠次郎	バル・モンタニア	赤尾 直美	日航
近藤 浩次	東京ガス	関口 育代	武蔵村山
佐野 信也	青山	星野 盟子	ヴェント
宮坂 誠孝	エーデル	片瀬さつき	八王子
金井 豪	ナトゥーア	北見佐枝子	エーデル
佐藤 慎一	A L T	高橋 明子	リーゼン
渡辺 智昌	A L T	小幡 茶香	ナトゥーア
宮原 康行	N A S	阿部千登勢	スノーウインド
宮本 欣也	エーデル	峯岸 香織	板橋区
島野 祐一	K S C	浅見千佳子	ツヴァイテ
紙谷 博之	エイトマン	酒井 瑞穂	志賀
渡辺 圭之	三鷹市	小林 りえ	スポーツファンクション
高島 信一	北区	三好 康博	メイプル
藤田 聡一	日航	赤鹿 健二	スノーウインド
村井 勉	デモネージュ	高橋 政明	白銀
中村 芳宏	立川市	栗原 誠	アーバン
尾崎 純郎	板橋区	君島 竜一	港区
鎌形 総光	エイティエイト	古川 修	エーデル
高木 完治	武蔵野市	小堺 充	ヴァイス・ホルン
松本 隆之	A V ピア	杉野 功	スノーウインド

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
菅平 B 2 会場		山崎 茂	アントン
中野 雅裕	スラローム	小川 輝雄	エヌ・ケー・エス
市川 満明	マスタートーズ	堀井 浩一	フェロー
斎藤 住雄	アーツスポーツ	遠藤 恵一	ホリデイ
庄司 信彦	瑞穂町	遠藤 秀樹	八王子
内藤 忠明	K S C	川崎 幸樹	志賀
天野 智夫	ハーヴェル	早川 秀寿	レスポワール
菊地 実	ウィッツ	平澤 健市	スカブラ
三瓶 正和	ジャパンイーエ	津端 清	イエティー
湯田 浩樹	三鷹市	鷹谷 宜哉	ホリデイ
郷田 哲也	アルティー	小山 和昭	アウ S C
大石 昭司	八王子	谷 靖之	八王子
小野 隆	エイトマン	高見 淳	消防庁
清水 崇史	八王子	加藤 宏和	J R 東海東京
遠山 伸二	東久留米市	穴沢 剛行	トータル
戸沢 稔	ホワイトウイングス	菅野 匡彦	八王子
清田 光晴	江東区	村松 賢一	サーティフォーティ
服部 孝司	国分寺市	高橋 昌明	狛江市
大多和昌彦	リーゼン	北 豊樹	スカブラ
宇野 亮	白馬	佐々木雅弘	イエティー
南波 徹哉	多摩市	柳沢 孝治	国土館大学基礎
尾原 昌輝	ソニー	渋谷 耕一	モルゲンロート
坂井 浩之	港区	櫛 明	昭島
宮崎 勇夫	チロル	阿部 和人	バグース
小村 純平	東芝府中	福井 貴直	スポーツユニティ
保坂 元	アスベン	秋山 知之	新宿
佐藤 真一	カモシカ	本間 統	田無市
小川 英	アロー	勝山 和之	ときわスキー
山川 潤	E S M	長野 順一	スチーラー
菊池 浩史	スカオイ	児玉 憲一	サンフィッシュ
遠藤 成晃	スノータンネット	瀬尾 和隆	タント
黒岩 将人	シール	杉浦 好典	ふくろう
廣橋 敏幸	ガキヤマ	中村 好伸	T W S
高橋 誠	国際電電	夏野 靖幸	八王子
満田 正義	シュア	真野 泉	志賀
副島 崇	白銀	米沼 政広	フレッシュ
車 山 会 場		小平 桂一	イエティー
岡田 智子	てふてふ	安藤 政和	八王子
田中 朋美	福生市	椿 雅行	Y M C A
菅原 愛	ヨシマル	佐藤 敏行	日本電子
澤田 亭子	ティンパーライン	島崎 安規	五日市町
田中 千晴	燕	緒方 涼平	ダイナミック
計良美穂子	イエティー	鈴木 正男	ヨシマル
泉谷 寛子	アウ S C	渡辺 嘉士	東村山市
小倉 広美	イエティー	伊藤 良平	燕
島田奈穂子	ラ・ネージュ		
漆館 尚江	ローデル		
池田 恭子	雪桜会		
高橋 美帆	イエティー		
堀井 泰子	E S M		
井上 昌代	トルベ		
高橋 彩香	レスポワール		
亀山 愛	イエティー		
中川 和美	シュア		
桜田 和子	イエティー		
松本 文子	イエティー		
小林 毎	ヨシマル		
上野 朝美	アウ S C		
安田 司	スカブラ		



'98パラリンピックNAGANO報告 「感動をありがとう」

アルペンチームコーティングスタッフ 山 極 晶 子
(立川市スキー連盟)

'98パラリンピック NAGANOは多くの愛に支えられて3月14日フィナーレを迎えました。一千万羽の折鶴の中で繰りひろげられた閉会式は、まだ皆様の記憶に新しいことと思います。

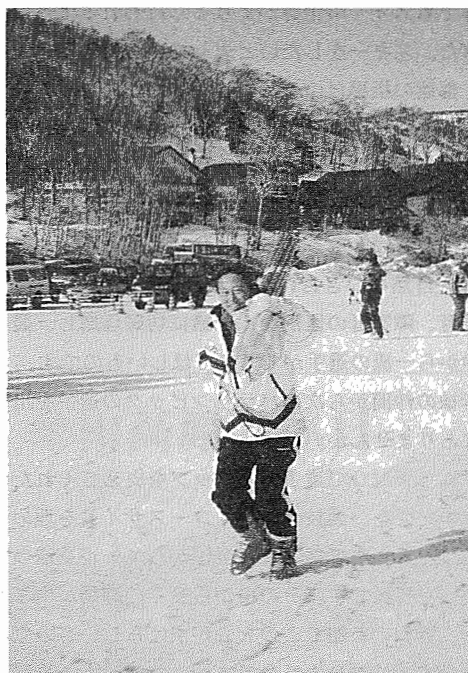
日本選手団アルペンチームのコーティングスタッフとして参加しましたので報告をいたします。

4年前、ノルウェーリレハンメル大会での結果は世界は強い!であった。2年前の世界選手権大会でも他国の選手の強さ・速しさに圧倒される思いであった。

それらの結果を踏まえて3年前から選手強化が始まった。ジャパン・パラリンピック大会の上位入賞者を対象に選手候補者をピックアップし年4~5回の強化合宿を実施した。その間に3回の海外の大会に参加し、海外でトレーニングを行った。97年12月の合宿でタイムトライアルを行い結果が最終選考にまわされた。今年度はトレーナー、ワックススタッフも加わり選考された24名の選手をサポートする日本選手団ア



チェアスキーの座位部を持って (筆者)



ポールをかついでトレーニングコースのセットに向かう

ルペンチームの陣容が整った。

大会会場志賀高原東館山のオリンピックGSコースは実にタフである。スタート直後、フィニッシュ前には壁が立ちはだかる。パラリンピックではここでDH、SG、GSを戦った。このコースに挑戦するブラインド(視覚障害)選手の勇氣には敬服する。SLは西館山である。日本での大会とはいえ東館山のコースはいろいろな事情からほとんど滑っていない。3日の公開練習、4、5日のDHの公式練習に全てをかけることになる。勝負はすでに始まっている。

毎日のミーティングで監督、ヘッドコーチから細かい指示があり、ポイントの確認があった。競技は男女交互の日程であり、明日に競技を控えた選手は前の夜は高天ガ原の前線基地に宿泊、他の選手は翌朝調整のため選手村からトレーニングコース(高天ガ原)に登った。7日の男子DHは猛吹雪のため中止、9日に男女のSGを両方行い日程を調整した。この変更を除けばほぼ好天に恵まれ順調であった。

われわれスタッフは競技コースとトレーニングコースに分かれ、競技コース担当の日にはスタートエリアにいて選手の世話をし、相談にのり、スタートした選手のウェアを持ってフィニッシュまでとばした。トレーニングコース担当の日には練習用のポールをセットし、スタートの調整をし、コースを使わせてくれと言って来る各国の選手、コーチに対応し、コースのメンテナンスをした。スイスのコーチと一緒にポールセットをしたこともある。

結果は初日女子DHで大日方が金、同じく大日方がSGで銀、GSで銅を勝ち取った。男子はSLで志鷹が金。そして最終日に女子の青木がSLで銀に輝いた。他の選手も精一杯がんばった。強化合宿の成果を発揮してくれた。しかし、やはり世界は強かった。体力、バランス感覚、テクニック、全てかなわない。日本選手が入りきれないゲートを彼らはクリアしていくのである。今後の課題は山ほどある。

リレハンメルからコーチングスタッフとして関わって来て思うことが2つある。1つは日本選手の多くがスキーの運動を、基礎を理解していないということである。どうすれば理想的なターンができるのか、制限されたコースをより速く走るにはスキーにどう働きかければいいのか、がわかっていない。ただがむしやりにポールの近くを通ればいいのかという感覚である。「習うより慣れろ」という言葉があるが毎日ポールの練習ができるような環境にあるわけではない。2つ目は選手自身が、周囲が「障害を持っている」という制約された所からものを見ていることである。障害があるから何々はできない、という否定的な考えから出発していることである。1も2も実は同じことなのでしょうが、スキー自体の運動には障害の有無は影響ないのである。運動の原理（基礎）がわかっていればはその人の使える機能をどう活かすかの工夫になる。



青木選手（チェアスキー、SL銀メダリスト）をサポート



メダリスト達（青木、大日方）と

そのつもりで指導すると選手は納得がいき、できなかった事ができるようになるのである。

私に加わった初期の頃はスタッフにSAJの指導員はほとんどいなかった。障害者の施設（スポーツ施設も含む）の方が大勢だった。その後の合宿で徐々に指導員が増えてきた。障害者の施設の方だけだとしても制約的な発想になることがある。もちろん障害については理解していなくてはならないがもっと視野を広げてもいいのではないかと。スキーという専門分野にはSAJの指導員の力が必要であると思う。障害者の団体でもスキーの指導がより多く行われるようになってきた。スキーをしたいと思っている障害者は大勢いる。都連の指導員の皆様に積極的な参加をお願いします。また皆様のクラブ、連盟にぜひ障害者を受け入れ共に楽しむ仲間になってください。皆様のすばらしい指導の技術を活かしてください。また競技会にも参加させてください。そうすることによってお互いに理解ができ、自然なつき合いができるようになるでしょう。健常者、障害者の区別なく一緒に切磋琢磨し、競い合う中から一流の選手がでてきてほしいものです。

皆様の仲間から次のパラリンピックの選手を出そうではありませんか。

NAGANOで選手・スタッフを支えてくれたのはMウエーブを、競技会場を、コースサイドを埋めつくしてくださった皆様。また全国からエールを送ってくださった皆様です。その中から多くの感動が生まれました。皆様の参加でこの大会がすばらしいものになったのです。NAGANOでまかれた種が大きく育ちますように。「感動をありがとう」を選手団の側から皆様に贈ります。

名は体をあらわすか!? UNOスキークラブ

キャプテン 古谷 孝

今年で25周年を迎えるUNOスキークラブは、レーサーONLYのクラブです。その歴史のなかでは男女の国体選手も出しました。昨年のクラブ員登録数は39名。一つの会社に属していない我がクラブは年令も職業もバラバラです。しかし、ひとたび競争となれば、それがレースであれ、腹筋であれ、スクワットであれ、ゴルフであれ、ボーリングであれ、レーサー魂メラメラ!みんな負けず嫌いです。

オフシーズンは、週一回東京都体育館陸上トラックでの練習会や体力測定会で、お互いの体力の無さをけなしあったり、クラブ員に実家が野沢温泉で旅館を営んでいる人がいるので、そこへ泊まりにいたり、テニス、バーベキューなどのスキー以外のスポーツやゲーム、イベントでも親交を深めています。

シーズンに入ると、お正月に一週間近くの合宿を行います。練習ではタイマーを常に動かし、ビデオ撮影をし、刺激的かつ効果的なトレーニングを行っています。その他、石打スキー場にはシーズン中、その気があればいつでもトレーニングができるようにポールを常備し、石打のレース(石打GS、SL)がある場合もセットを張り、UPバーンを確保しています。都連のポイントレースをメインに草大会にも出場し、レーシングキャンプ等にも参加しているため、シーズン中はスキー三昧の日々を送っている人だけです。

クラブ名はイタリア語で《1》を意味しています。表彰台の真ん中をめざし、お互い競争しながら刺激しあって、クラブの名に恥じないスキーができるよう、みんなで楽しく上達していきたいと思っています。



スカーゼフリースタイルスキーチーム

理事長 安藤 薫



都連に加盟して24年を経過しました。北欧神話の「雪の神」スカーゼです。華麗でダイナミックなFSは単なるピステでのパフォーマンスに止まらず競技スキーとしてオリンピック種目にもなりました。'73年日本におけるFS普及目的でFIS、JジョンストンFS委員長が来日し、当クラブ菅会長(当時FIS指導部理事、インタースキー理事、SAJ本部長)と協議を重ねた結果'74年SAJで組織化とFIS登録が完了したのです。アマプロ283名のフリースタイラーが結集されました。以後当クラブは都連、全日本で多くの入賞者を出していますが特に'93年の全日本選手権のエアリアルで石川、荒瀬両君が優勝・準優勝独占と実を結んだことです。また連盟コーチに山口、専門委員に安藤、小野を派遣、強化選手にエアリアル2名、アクロ1名を出しており益々の充実と躍進を目指しております。

さらに'95年以来、猪苗代リステルでFSウォータージャブ「スカーゼカップ」を開催しています。今後スキーは益々多様化して行きます。ヴェアリアブルなフリースタイルスキーには楽しみとパフォーマンスとコンペティションがあります。

皆さまのチャレンジをお待ちします。クラブ員一同温かくお招きしたいものです。



デモネージュ・スキークラブ紹介 生涯スキーを目標に

鈴木 茂 夫



わがクラブの都連加盟は1974年（昭和49年）の9月、加盟番号333のカブであった。発足当初から掲げたモットーは「自由なスキー同好者の集まりでこのグループの構成員はすべてに平等であり、何でも語り合い、飲みあい、そして滑りあう仲間として存在したい。」「技術探求も、旗まげも、ツアーも、ファミリースキーも、貪欲にスキーを楽しもう」とある。それから20数年、現在まで、ほぼこのモットーは実現されてきた、と自負している。結成当初は加盟人数ぎりぎりの30名、発起人たちのおおかたが教員であったが、現在100名近く、職業もバラエティに富み、社会人クラブとして成長してきた。会員は首都圏のみならず、ほぼ全国に散らばっている（海外も）。有資格者も40名を数えている。つい数年前、20周年記念行事で北海道はニセコにスキーツアーを実施、北海道に在住している会員たちも案内役として参加、パウダースキーを満喫した。

シーズン中、初滑りをはじめとしてポール、レベルアップ等のテーマを設定して、数回の合宿（キャンプ）を持っている。デモネージュ・クリニックと称した特別研修会も人気がある。目玉は春休みを利用したファミリースクールであろう。親子揃っての春スキーであるが、次代のデモネージュを背負う人材を養成するというのが本音かも知れない。ちなみに、“デモネージュ”とは、「デーモン」（悪魔）と「ネージュ」（仏語で雪）の造語で、“白銀に魅せられた”とでもいう意味のつもりである。ひょっとして「デモンストレーター」の“デモ”、いやいや「でも飲んじゃおう」の“デモ”？かも。

25年の思い

川 上 義 則

早いもので私どもピュアスキークラブは、今年設立25周年を迎える事が出来ました。僅か数名の指導者で設立したスキークラブが現在、指導員・準指導員合わせて25名、クラブ員17名、総勢42名の中堅クラブにまで、成長する事が出来ました。設立当初は一日も早く、指導者を育成しなければならないと言う大命題に、クラブ員全員が猛烈に練習をしたものでした。今は違い昔話になってしまいましたが、クラブでは伝説となっている（一部で）「裏太郎月明かりの特訓」一般の指導が終わるのが夕方5時過ぎ、それからが本番、リフトが止まった裏太郎を、スキーを担いで斜面を誰よりも早く、一本でも多く滑ろうと皆競い合って登る。一本、二本…五本目ようやく「ラスト！」の声がかかる、「ホッ！」とするのも東の間、次はスケートインの練習が待っている。ラグビーポールを往復5本、気を抜いたり、旨く出来なかつたりすれば必ず「やり直し！」の鬼のような声が飛んで来る。ようやくノルマを果たし、「終了」の声を聞くと皆、体力を使い果たし倒れ込んでしまう。帰りは当然リフトは無し、車道をバタバタと又、スケートインでホテルまで帰り、ウェアを着たまま夕食を取り、後は口もきけずに眠るだけ、そんな地獄の様な練習が続きました。それでも皆旨くなりたい一心で、脱落する者は一人も居ませんでした。今は、こんな根性物語は流行りませんが、25年を振り返って見ると、我々のクラブの原点は此処にあったと思います。スキーを愛し、競い合い、そして、認めあった仲間で作上げて来た25年間、これから原点を忘れず、「ピュア精神」で、活動を続けて行きたいと思います。

最後に此の項をご提供頂いた事に御礼申し上げます。

編集後記

雪がナイ！どーしよう…で始まった今シーズン。天の恵か人智の力か、ナントカ無事閉幕を迎えた長野五輪、都連の行事も略終了し連休も滑るゾって思ったら雪が残ってない。アアなんて溜息ついてたら来期へ向けての準備が始まりました。

“俺たちにオフシーズンはない”…のかも？

編集者 委員長 中嶋 淳 編集長 本間毅一
編集委員 三瓶一男 塚本哲夫 蒔野秀治 海老沢晃
藤雄比佐夫 川淵 誠 土屋東明 花田知之
斉藤かおり